

講師：大野 智 博士

大阪大学 大学院医学系研究科 統合医療学寄附講座 (准教授)

特別ゲスト：稲野 彰洋 博士

(福島県立医科大学病院・臨床研究センター・副センター長)

緩和医療における薬物治療のコツ

がん患者の症状は、腫瘍の進展・転移による「疼痛」、呼吸困難感をはじめとする「呼吸器症状」、悪心・嘔吐の「消化器症状」など多岐にわたっています。また、それらの症状に対する薬物療法をおこなう際に、患者の肝機能・腎機能等の生理機能や薬物の副作用の影響など患者の全身状態について包括的評価をおこないつつ治療戦略を立てる必要があります。

そこで、本講義では、症状マネジメントに用いられる基本的な薬物の投与量設定に必要な、薬理学および薬物動態学の基礎知識に加え、標準的な治療戦略から日常的な工夫までを解説します。

さらに、がんの医療現場における緩和医療の意義や課題、がん患者とのコミュニケーション、科学的根拠に基づいた医療 (EBM) に関する話題についても紹介します。

また本年はゲストに稲野彰洋博士もお迎えしますので、お楽しみに。

開催日時：平成 29 年 6 月 9 日(金) 17:00 - 18:30

会場：薬学部 第 3 講義室(薬学部研究棟南側 3F)

本講義は、薬学部薬学科 4 年生必修「薬物治療学 3」として開講しますが、受講者以外の聴講も歓迎します。

担当：神経病態解析学分野・准教授・笠原 二郎

awajiro@tokushima-u.ac.jp

Tel: 088-633-7278 学内 6256